

夏休みを活用した学習支援および教員の授業力向上について

1 児童・生徒への学習支援

(1) 小・中学校

○基礎・基本の定着

夏休み個別学習相談会 7月22日～8月29日

全小・中学校で実施 小学校平均4.5日間 中学校平均8日間開催

荒土小 計算力をつけるため、理解が不十分な計算問題や算数Webの問題を制限時間内に解く。誤答は友達同士で教え合う。

松岡中 漢字や計算の問題を、目標（80点以上合格等）を決め、全員が目標達成を目指す。

○主体的な学び

夏休み理科実験応援プロジェクト 7月22日～8月15日

全小・中学校で実施 平均4日間開催

長畝小 教員や地域ボランティアの指導により、紫キャベツの汁（酸性・アルカリ性を調べる指示薬）の性質を調べる実験等を実施。

鯖江中 静電気の性質や振り子と摩擦の関係等の課題について、教員の指導を受けながら実験し、レポートにまとめる。

(2) 高校

○普通科系

ア 全学年

- ・ 7月下旬から8月上旬および8月下旬に課外を実施
(1、2年生は国数英の3教科中心、3年生は5教科)
- ・ 大学のオープンキャンパスに参加

イ 3年生

- ・ 志望者を対象に大学別対策講座を実施
東大・京大・阪大・名大・神大などの志望者を対象とした大学別対策講座
予備校の授業をビデオで視聴
- ・ 大学入試および模擬試験の過去問題を活用して個人添削指導を実施
- ・ 難関大学別模擬試験を受験
- ・ 進学合宿を実施

ウ 県主催の進学対策講座

- ・ 地元国公立大学2次試験対策講座

内容 国公立大学の入試の過去問題解説（国語、数学、英語、物理）

嶺北 8月7、12日実施 生徒191名（8校）参加

嶺南 7月19日実施 生徒 54名（3校）参加

- ・ 小論文講座

内容 環境、医療、福祉、教育などの分野の小論文の書き方を学習

嶺南 8月4日実施 生徒154名（4校）参加

※嶺北は該当生徒数が多いため、各学校で実施

○職業系

ア 資格取得対策補習や実習の実施

- ・電気工事士試験、各種技能検定など（工業）
- ・ITパスポート、日商簿記など（商業）
- ・介護実習（福祉）

イ 各種大会への参加

- ・福井県学校農業クラブ年次大会、学校農業クラブ北信越大会など（農業）
- ・福井県工業学科チャレンジロボコン、ものづくりコンテストなど（工業）
- ・全国高等学校ワープロ競技大会、珠算・電卓競技大会など（商業）

（3）サイエンス教育

○夏休み科学実験チャレンジ教室

7月29日～8月7日 エンゼルランド等 306名が参加

科学に関心の高い中学生が、企業研究者の指導により最先端の科学実験（DNA電気泳動）に取り組んだ。

○ふくい理数グランプリ

・中学校

8月 2日 チャレンジステージ 1128名参加 教育研究所他県内6会場

8月24日 グランプリ本選 予選を勝ち抜いた60名参加 福井大学会場
理科課題 「効率よく発熱させるには（鉄の酸化）」

・高校

9月7日、21日に実施予定（参加予定 121チーム、372名）

○科学部夏季サイエンス研修会（高校）

8月5日 若狭三方縄文博物館 参加者32名

年縞の採取地見学および研究成果について講義

（4）英語教育

○FUKUI 英語ランド

内容 ・ALTとの交流を通して楽しく活動し、英語力を高める。

- ・大西泰斗氏によるグローバル力UPのための講義演習
- ・小学生が中高生による英語でのパフォーマンスを見学

8月5日～9日実施

小学生123名 中学生48名 高校生43名 計214名 参加

○英語セミナー・キャンプ

内容 県内6ブロック（福井・奥越・坂井・鯖丹・二州・若狭）ごとに、中学生がALTと英語を使って活動

8月5日～20日実施 中学生465名 参加

(5) その他

○雲龍丸乗船体験

一般公開 7月20日～8月18日現在 2,651名参加 (大人含む)

体験航海 8月2、3、23、24日 (9、10日は台風のため中止)

187名参加 (参加予定者を含む)

○こども歴史文化館

8月17日現在 入館者数 7,897名 (夏休み中10,000人入館見込み)

○放課後児童クラブ

夏休み中の利用希望者が増加 (平均: 通常期の1割程度増) に対して多様なプログラムを提供。

- ・児童館の菜園で育てた野菜を使ってカレーづくり (キッズキッチン) (大野市)
- ・サイエンス博士を招いて科学実験教室 (坂井市他)
- ・地区の祭りで歌、踊りの発表 (福井市)
- ・近隣の老人施設等を訪問して歌、踊りの発表 (福井市)
- ・夏休み行事企画 (電車、バスに乗って1日体験活動 奥越ハックルベリーの森)
(福井市)

【参考】福井市…通常期	2,400人	→	夏休み中	2,700人
敦賀市…通常期	600人	→	夏休み中	650人

残り夏休み期間の支援対策・指導重点項目

【小・中学校】

- ・8月後半に実施する個別学習会や全校登校日の機会を利用し、「夏休みの宿題 (問題集)」等の中で、理解が不足している問題を個別に指導する。
- ・9月からの授業では、子どもに課題を持たせ、一人一人が目的を持って授業に臨めるように指導する。
- ・生活リズムを取り戻すため、時間と服装を意識させ学校生活・学習活動に取り組むよう指導する。

【高校】

○普通科系

ア 全学年

- ・後半の課外に取り組むとともに、夏季休業中の課題の確認テストで学習成果を把握し、2学期の授業に備える。
- ・学校祭終了後、学年集会、個人面談等により、学習に対する気持ちを切替え、学習習慣の見直しを図る。

イ 3年生

- ・教科書が終了した教科から問題演習を中心とした授業を開始
- ・8月下旬に返却される模擬試験の結果を踏まえて、答案を見直し、もう一度解答解説を理解し、問題を解き直す。

- ・センター試験対策講座や2次試験対策講座等の個別指導を受け、自分の弱点分野を把握し補強する。
- ・面接・小論文指導を通して、AO・推薦入試に向けた準備を進める。

○職業系

- ・9月16日からの就職試験に向けて面接・履歴書作成等の指導を受け、進路の実現を目指す。
- ・資格取得に向けた補習を受講し、実力を身に付け、合格を目指す。
- ・就職内定後は、ビジネススキルアップセミナー等で、社会人としてのマナーを身に付けていく。

2 教員の授業力向上

(1) 県教育委員会

- 小・中学校教員理科指導力向上研修（効果的な実験指導の実習）

県内7ブロックで開催 235名参加

- 和歌・漢文講演会（古典教育の充実のために）

8月4日県立大学 8月6日敦賀市 296名参加

- 芸術教育指導者養成研修

日本画研修 2回 約80名参加予定

弦楽研修 8回 約60名参加予定

- 小論文講座

内容 小論文の添削指導法の研修

嶺北 7月1日実施 教員25名（8校）参加

嶺南 8月4日実施 教員27名（4校）参加

- 東京大学入試対策教員研修会（対象教科：理科・地歴）

内容 東京大学の過去問題の入試問題研究

8月3日実施 教員65名（11校）参加

(2) 市町教育委員会

17市町が、地区の課題を応じた研修会を開催

- 福井市課題別研修（生徒指導、福祉教育、キャリア教育等）

計20回 950名参加予定

- 越前町学習指導研修（算数・数学の指導法の工夫） 27名参加

(3) 自主研究

小学校教育研究会、中学校教育研究会が主催する教科・領域別の研修

・小教研究集会 8月7日 県立大学 600名参加

・中教研究集会 8月12日 県立大学 450名参加

・高教研大会 8月20日 アオッサ 550名参加(予定)

(4) 英語

○小学校教員を対象とした研修（8月6日）

- ・授業の実践的な活動例を用いた解説、授業映像を用いた授業研究、授業改善のためのグループ演習 235名参加 二宮秀夫氏（福井大学教授）

○中学校教員を対象とした集中研修（7月30日～8月13日）

授業と定期考査などの評価の改善

- ・コミュニケーション活動

1年生に対する音声と綴りの指導等について

189名参加 蒔田守氏（筑波大学附属中教諭）

指導と評価の一体化

- ・指導法と定期考査などの評価のあり方を学ぶ講義・演習

189名参加 田中武夫（山梨大学准教授）

英語力の向上

- ・ALTとスピーチやグループディスカッション等の演習 195名参加

○高校教員を対象とした研修（8月1日・5日・7日）

音声トレーニングの充実

- ・授業におけるディクテーション、シャドウイング等の演習

41名参加 柴原智幸氏（NHK「攻略！英語リスニング」）

指導と評価の一体化

- ・指導法や定期考査などの評価のあり方を学ぶ演習

48名参加 松本茂氏（NHK「おとなの基礎英語」）

職業系高校の授業改善

- ・オリジナル教材のサンプルを使用した指導法を学ぶ演習

14名参加 大西泰斗氏（NHK「しごとの基礎英語」）

残り夏休み期間の重点取組項目

【小・中学校】

- ・夏季休業中の研修の成果を、8月中に校内研修会（学年別、教科別）を開催し、すべての教員が共有できるようにする。
- ・全国学力・学習状況調査の結果を全職員で再度分析し、9月からの授業改善プランに反映する。
- ・9月に実施する学校評価（中間）、業績評価に向け、教員が7月までの授業を見直し、改善を図る。

【高校】

○普通科系

ア 1、2年生

- ・7月県模試の結果分析をもとに、学校祭終了直後に学年集会や担任による個人面談を実施

イ 3年生

- ・模擬試験の結果を返却し、答案をもとに弱点補強をするように指導
- ・県模試・大学別模試の結果や大学の志望動向分析をもとに、学校祭終了直後に学年集会や担任および進路指導担当教員による個人面談を実施
- ・生徒の志望をもとに、センター試験対策講座や2次試験対策講座等の個別指導を実施
- ・A O・推薦入試対策として面接・小論文指導をすべての教員が実施

○職業系

- ・就職試験開始に向けて、面接指導等を実施
- ・各種資格取得に向けて補習などの指導を強化
- ・就職内定者の初期指導やビジネススキルアップセミナーを実施